



ホリデーシーズンの安全対策等

- 1 財産犯罪（スリ、ひったくり、置き引き、強盗、空き巣など）
- 2 詐欺
- 3 暴行・ヘイトクライム
- 4 テロ
- 5 緊急事態
- 6 被害に遭わないための準備と対策
- 7 孤独・孤立及び家庭問題
- 8 米国の法令遵守
- 9 パスポート有効期間の再確認
- 10 年末年始の休館日
- 11 たびレジと在留届

安全対策（一般犯罪、テロ、詐欺等）

（１）人混みではスリや置き引きなどの一般犯罪被害のほか、ヘイトクライムや暴力被害、さらにはテロなど不測の事態が発生する危険性が高まりますので、最新情報の入手に努め、外出の際は周囲の状況に十分注意を払ってください。

（２）最近、電話やショートメッセージによる詐欺事案が再び増加しています。万が一不審な電話を受けた場合には、一旦電話を切って家族や知人または警察に相談するなど、慎重な対応を心がけてください。

（３）飲酒運転や不法就労等の法令違反は、逮捕・罰金のみならず、査証・滞在資格が取り消され、国外退去となり、その後再入国禁止となる可能性があります。米国滞在中は、米国の法令を遵守してください。

パスポート

お手元のパスポートの有効期限を確認の上、更新が必要な方は早めに当総領事館にご相談ください。

●パスポート（旅券）の申請について

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00472.html

当総領事館の年末年始の休館日

当総領事館の年内の最終開館日は１２月２６日（金）となっております。１２月２７日（土）から１月４日（日）の間は休館となりますので、必要な領事関係手続は早めに済ませておくようお願いいたします。

●休館日（在ニューヨーク日本国総領事館）

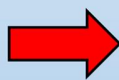
https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/holiday-schedule.html

1 財産犯罪 → 被害に遭ったら抵抗せず、安全を最優先に！

※犯人は武器（刃物、銃器等）を所持している可能性も。バイクに乗った者からカバンをひったくられそうになり、カバンを離さなかったために引きずられ、重傷を負ったケースも。

あの手この手で忍び寄る犯罪

- ・ スリ・ひったくり・置き引き・空き巣
- ・ ソフトクリーム（ケチャップ）強盗
- ・ ニセ警官
- ・ エセ親日家
- ・ 悪徳両替商
- ・ 悪徳タクシー
- ・ いかさま賭博
- ・ フィッシング詐欺
- ・ クレジットカード詐欺
- ・ 睡眠薬強盗など
- ・ 空き巣



対策

●目立たない

華美な服装？高級時計？歩きスマホ？
現地に溶け込み、目立つ行動をしない

●用心を怠らない

他人をむやみに信用しない
常に手荷物から目を離さない
貴重品管理の徹底。現金は分散して持つ
人通りの少ない路地には近づかない
住居のセキュリティの徹底
事件や事故を興味本位で見たり撮影しない

●行動を予知されない

同じ時間？同じルート？
SNSでの発信？
銀行、ATM等からの帰り道に注意

繁華街やイベント会場などの人が多く行きかう場所では、スリなどの窃盗事件が多発します。また、長期間自宅を不在にした際の空き巣被害にも注意が必要です。

被害例

- ・ レストランで友人と食事をしていた際、椅子の背もたれに掛けていたバッグが無くなっていた。
- ・ タイムズスクエアを観光中、ズボンの後ろポケットに入れていた財布が無くなっていた。
- ・ 歩行中、突然横から男にぶつかられ、眼鏡を落として壊されたと言いがかりをつけられ200ドルを請求された。数ヶ月後、歩行中に同一人物からぶつかられ、前回同様にお金を請求されたが、I know You と言ったところ、男はその場を去って行った。
- ・ 混雑している地下鉄内で、急に女に話しかけられ、会話が終わった後に鞆を確認したところ、貴重品が無くなっていた。（女が話しかけて気を逸らしているうちに仲間がスリを実行する手口）

対策

- ・ 人混みでは荷物は前に抱えて肌身離さず持つ。やむを得ず手元から離す場合は、必ず自分の目が届く場所に置き、常に注意を払う。
- ・ 多額の現金・貴重品を持ち歩かない（やむを得ない場合は、現金は分散して持つ）。
- ・ 財布やスマートフォンなどはむやみに人前で取り出さない。
- ・ 見知らぬ人物に急に話しかけられた場合は、相手にせず、荷物に手を添えて警戒する。
- ・ 家を留守にする場合は、ドアや窓の施錠を徹底し、要すれば信頼できる近隣住民や管理人に一声かける。
- ・ 「ながら歩き」をしない（スマートフォンを見ながら、イヤホンで音楽を聴きながら歩かない）。
- ・ 不審者からの接触や金銭請求には応じず、毅然とした態度でその場を離れる。

2 詐欺 → 年々、手口が巧妙・複雑化！

- 銀行職員や警察官等を装った電話詐欺
- 日本の総領事館職員を装った電話詐欺
- ウェブサイト上の掲示板における詐欺行為
- 英国からの遺産相続を持ちかける手紙詐欺



「詐欺の種類、概要及び対策について」
〈在ニューヨーク総領事館 HP〉

対 策

- 知らない番号からの着信（電話やメッセージ）は一切無視！
- 知らない人からの友達リクエストも無視！
- 不安をあおる話はウソ！ → 薬物犯罪？マネーロンダリング？
- 儲け話、恋愛話はウソ！ → 宝くじ当選？遺産相続？
- 急かす相手のペースに飲まれない。落ち着いて「確認してからかけ直す」と言って電話を切る。
- 言われるがままにアプリをインストールしない。使わない。

詐欺グループは、役割分担をして、様々な手口で被害者を騙し、個人情報や金銭を奪い取ろうとしています。「自分は騙されないから大丈夫」などと楽観視せず、日頃から十分警戒してください。

被害例

- ・荷物の再配達、ヘッドハンティング、罰金の支払いなど、身に覚えのないショートメッセージ（SMS）が携帯電話に届き、メッセージ中のリンクから振り込み手続きを行ったところ、大金が引き落とされた。
- ・大使館・総領事館の職員、銀行職員や警察官を名乗る者から電話があり、犯罪に関与しているとして、ビデオ通話で身分証や顔写真の提示を求められた後、行動報告や送金を要求された。
- ・フリーマーケット（売ります・買います）でコンタクトしてきた相手から、個人のメールアドレスで直接連絡を取り合おうと言われ、売買は成立したが、売約金額以上の額面で小切手を送付してきて、差額を返すように言われた。結局その小切手は偽造だったことが後から判明。
- ・ロンドンの James Katsuya Nakano 氏から手紙が届き、死亡した日本人の相続人が見つからないので、あなたを最近親者として遺産の 38%を譲渡するので、書類作成代や手数料を振り込むよう言われた。

対 策

- ・見知らぬショートメッセージ（SMS）やダイレクトメールに記載されたリンクを絶対にクリックしない。
- ・金銭の送金や行動報告を強要された場合は直ちに拒否し、通話を終了する。
- ・絶対に他人に話さないと言われても、電話を切った後にすぐに友人・知人や総領事館、警察に相談する。
- ・公的機関や銀行職員を名乗る電話でも、個人情報の開示、顔写真や身分証の提示には応じない。
- ・被害に遭った場合は、速やかに警察や総領事館に相談・通報する。

3 暴行・ヘイトクライム → 自分の身は自分で守る！

被害例：嫌がらせ・暴言・暴行

- 日本人女性が複数の男女に「アジア人」や「中国人」等と言われて突き飛ばされた。
- 高齢の日本人男性が歩道を歩行中、すれ違いざまに突き飛ばされ、頭を強打し、その後死亡。
- 高齢のアジア系女性が路上で蹴り倒され、頭部を踏みつけられるなどの激しい暴行を受けた。
- 混雑した昼の地下鉄で、座っていた不審者からいきなり殴られた。

対 策

- 外出の際は、できる限り複数人で行動する。特に、**夜間の単独行動を控える**。
- 暗がりや人気の少ない場所には立ち入らない。
- **周囲に注意を払い**、不審な人物・集団を見かけたら、速やかにその場を立ち去る。**凝視しない。相手にしない**。
- **目立たない服装・行動等**を心がける。

被害例：性的暴行

- 現地男性の自宅で英語の個人レッスンを受けていたところ、ワインを飲まされ酩酊状態となった上、性的暴行の被害を受けた。
- ホテルの従業員を装った者が部屋に侵入し、性的暴行の被害を受けた。
- タクシーを利用したところ、運転手に人気のない場所に連れて行かれ、性的暴行の被害を受けた。

対 策

- 単独行動を控える。
- **無条件に相手を信用せず**、パートナー以外の人と同席する場面では飲酒等を控える。
- 従業員を名乗ってホテルの部屋を訪問する者がいても、ドアを開けずにフロントに確認する。
- タクシーは、運転手の身元が確実に確認できるものを利用し、また、1人では乗車しない。

ヘイトクライムやヘイトクライムとは直接関係のない突発的な暴行事案が依然として発生しています。加害者や暴行事案の種類は様々であり、予測することは困難です。いつ被害に遭ってもおかしくない状況であるため、常に身の安全を第一に考え、十分に注意して行動してください。

被害例

- ・地下鉄でホームから階段を上がっていたところ、上から降りてきた面識のない男にすれ違いざまに突然頭を殴られた。
- ・地下鉄で足を投げ出して優先席に座っていた男の前に立ったところ、突然足で蹴られた。
- ・地下鉄で中年の男にアジア人差別とも受け取れる暴言を吐き続けられ、最終的にナイフを使って殺すなどと連呼された。
- ・歩行中、薬物使用者と思われる様子の男が正面から歩いてきたため、避けようとしたが、すれ違いざまに手に持っていたコーヒーをはたき落とされ、暴言を吐かれた。

対 策

- ・人目を引く華美な服装・装飾品を身につけず、なるべく周囲の環境に溶け込む。
- ・「ながら歩き」をしない（スマートフォンを見ながら、イヤホンで音楽を聴きながら歩かない）。
- ・常に周囲を警戒し、不審者や道端でたむろして騒いでいるグループには近づかない。
- ・トラブルが起きそうな予兆があった場合には直ぐにその場から離れる。
- ・トラブルに巻き込まれた場合は周囲に助けを求める。

4 テロ → まずはリスク回避、つぎに被害の最小化

- 中東やアフリカ地域だけではない。世界中どこでも起こり得る。
- 標的はソフトターゲット＝政治的な場所、宗教施設、多くの人が集まる場所
- 最近では、単独犯による事件が増加（ローンウルフ型）

遭遇しないために

- テロの標的となりやすい場所（１）、時期（２）を避ける
- 不特定多数の人が集まる場所では十分注意を払う
- 不穏な動き、不審者、不審物を察知したら、直ちにその場を離れる
- 安全なレストランやホテルを選ぶ

遭遇してしまったら

- 爆発音、銃撃音を聞いたら
→ **伏せる！ 逃げる！**
- 避難が困難であれば
→ **隠れる（絶対に音は立てない）**
- 可能であれば
→ **メール等で外部の支援を求める**
- 暴走する車両を目にしたら
→ **走行ルートから離れる**

（１）多くの人が集まる場所や特定の施設（政府関連施設、宗教施設、観光名所、ショッピングモール、公共交通機関など）
（２）クリスマス、年末年始、ラマダン、選挙、独立記念日など歴史的・政治的記念日、過去のテロ発生日など

近年、世界各地で「ソフトターゲット（＊）」を標的としたテロが頻発しています。テロは予兆なくどこでも起こり得ることを認識し、日頃から有事の際の行動を再確認しておくことが重要です。

（＊）：駅や商業施設、イベント会場など警備が手薄で一般市民が集まる場所

近年NYで発生したテロ事案

- ・ ニューヨーク市チェルシー地区における爆発テロ（2016年）
- ・ ニューヨーク市マンハッタン区における車両突入テロ（2017年）
- ・ ニューヨーク市タイムズスクエアにおける警察官襲撃事件（2022年）
- ・ ニューヨーク市マンハッタン区ミッドタウンにおける銃乱射事件（2025年）

対 策

- ・ 出先の最新情報を事前に収集する。
- ・ 常に周囲の状況に注意を払い、不審な人物（不自然な厚着）や状況（所持人不明の大きな荷物）を察知したら速やかにその場を離れる。
- ・ 人混みや建物の中に入ったら、非常口を確認するとともに、いざという時の退避ルートや隠れられる場所を確認しておく。
- ・ 銃声や爆発音がしたら、その場に伏せたり、物陰に隠れ、状況を見極めて現場から離れる。

5 緊急事態：自然災害、テロ、大規模事故、騒乱、暴動、内戦、クーデター、感染症など

→ 情報収集が鍵

- 新聞社・TV局のSNS（FacebookやX）をフォロー（プッシュ通知）
- 現地当局（警察・消防・救急、保健所）のSNSをフォロー
- 防犯・治安情報アプリのインストール



CNN



CNN International
X



CNN International
Facebook



NHK ONE
News Web



CITIZEN



BBC



BBC World X



BBC News
Facebook



FCI News Catch !



Notify NYC

6 被害に遭わないための準備と対策

→ 渡航・滞在先の治安は大丈夫！？



外務省
海外安全ホームページ



海外安全虎の巻



ゴルゴ13の中堅・中
小企業向け海外安全対
策マニュアル



国・地域別
「安全の手引き」



地下鉄・バスでの安全対策



写真でわかる地下鉄利用
時の留意事項



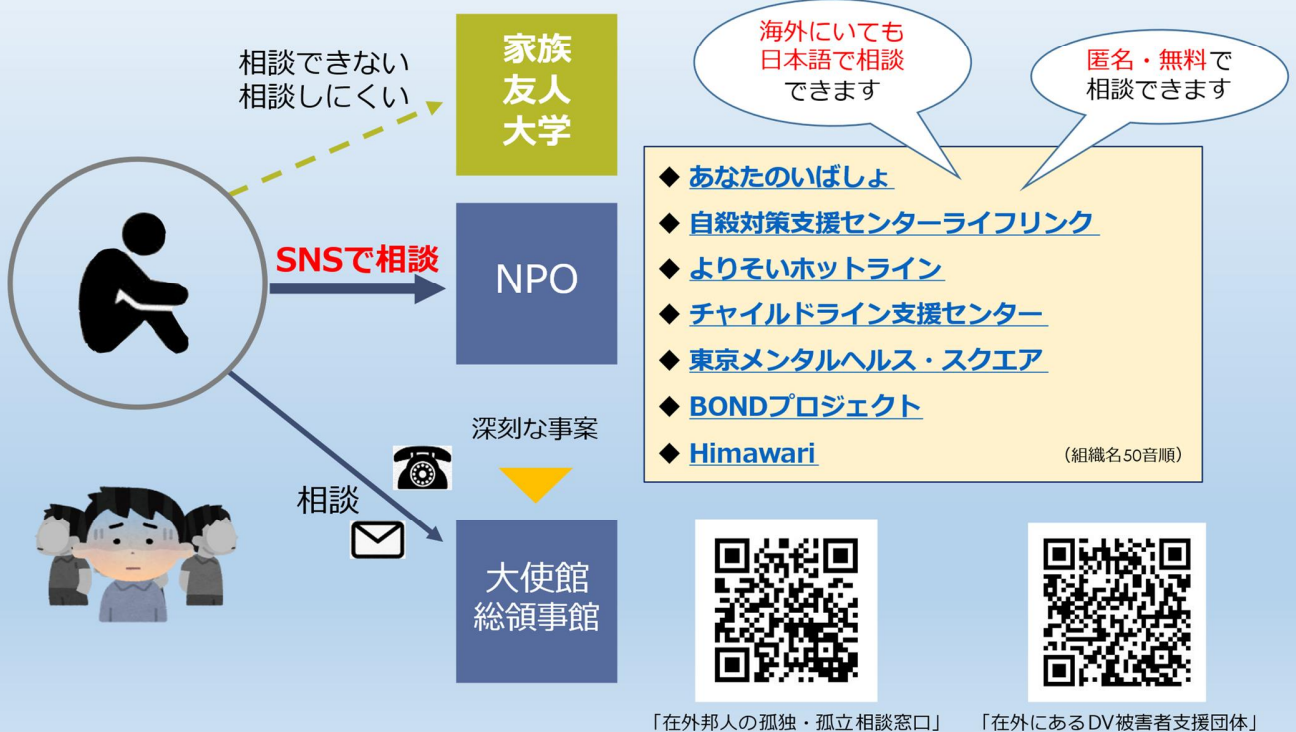
犯罪被害に遭った場合



大使館・総領事館に
できること、できないこと

7 孤独・孤立及び家族問題

悩みや不安で苦しいときは、**一人で抱え込まないで誰かに相談**してください。



8 米国の法令遵守

● 飲酒運転や不法就労等の法令違反は、逮捕・罰金のみならず、査証・滞在資格が取り消され、国外退去となり、その後再入国禁止となる可能性があります。米国滞在中は、米国の法令を遵守してください。



米国法令の遵守



米国への商用目的渡航について

● 身分証明書（ID、パスポートなど）を常時携帯してください。



米国における外国人登録義務等の厳格化

9 パスポート有効期間の再確認

年末年始の長期休暇や急な出張の際に、パスポートが失効していたり、渡航先の国が求める残存有効期間が足りず、米国を出国できないケースが毎年発生しています。お手元のパスポートの有効期限を今一度ご確認の上、更新が必要な方は早めに当総領事館にご相談ください。

なお、現在パスポートは本邦にて集中作成しており、年末年始にかけて通常より多くの処理期間を要する可能性があります。



新しいパスポートと、
一つ先の未来へ



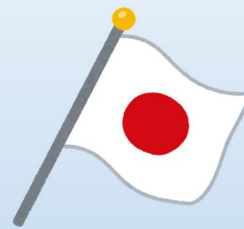
パスポート（旅券）の申請について

10 年末年始の休館日（在ニューヨーク日本国総領事館）

年内の最終開館日は12月26日（金）です。12月27日（土）から1月4日（日）の間は休館となりますので、必要な領事関係手続は早めに済ませておくようお願いいたします。



当館休館日



11 たびレジと在留届



国外への旅行にあたっては「たびレジ」
にご登録を！現地の安全情報が届きます。



3か月以上の滞在は、在留届をご提出ください！
変更届、転出・帰国届もお忘れなく！

【参考】

- 安全の手引き（在ニューヨーク日本国総領事館）

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100882028.pdf>

- 詐欺の種類、概要及び対策について（在ニューヨーク日本国総領事館）

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/News_110824.html

- 盗難等の犯罪被害に遭った場合（在ニューヨーク日本国総領事館）

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/hanzai.html

- 再度の注意喚起：米国法令の遵守について（在ニューヨーク日本国総領事館）

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/News_092625.html

- 日本語の通じる弁護士リスト（在ニューヨーク日本国総領事館）

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100911057.pdf>

- 各州の治安機関等ウェブサイト一覧

<https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/files/100882027.pdf>

- ニューヨーク市警察（NYPD）

<https://www.nyc.gov/site/nypd/index.page>

<https://x.com/NYPDNews>（X（旧 Twitter））

- Crime Prevention and Safety Tips（ニューヨーク市警察）

<https://www.nyc.gov/site/nypd/services/law-enforcement/crime-prevention-and-safety-tips.page>

- Holiday Safety Tips（ニューヨーク市警察）

https://www.nyc.gov/assets/nypd/downloads/pdf/crime_prevention/4625-11-20-20-holiday-flyer.pdf

- ニューヨーク市犯罪マップ（犯罪が多く発生しているエリアや傾向が分かるマップ）

<https://maps.nyc.gov/crime/>

- CITIZEN（位置情報を利用した安全情報確認アプリ。無料版あり）

<https://citizen.com/>